

## ほっとする市民のためのやさしい市政

- 清潔で公正な、そして対話を重視した生活者起点の市政運営を行います。
- 透明性の高い市政運営を行い、情報公開”日本一”の行政を目指します。
- 市民双方向型のまちづくり実現のため「まちづくり懇談会」を実施します。
- 官民一体となり求職者のための緊急雇用対策を進めます。
- 金融機関と連携し中小企業経営安定化対策を進め、企業と雇用を守ります。
- 各総合支所に一定の予算を配分し、新しい地域住民自治システムを確立します。
- 「旧さくら野百貨店」へ移転する新庁舎のあり方を市民と共に再考し、市民本位の施設とします。
- 新庁舎に図書館的機能、市民センター的機能などを持たせ、休日も市民が集う施設作りを進めます。
- 新庁舎の窓口は休日オープンとし、働く人の利便性向上を図ります。
- 市役所組織を再編、横断的なプロジェクトで自由にアイデアを出せる活気ある組織作りを進めます。
- 市長直属の「マニフェスト推進室」を設置し、スピーディーに実行できる組織体制を整えます。
- 第三者による「市長マニフェスト審議会」を設置し、公正・公平な視点で政策を実現します。
- 国や県、民間企業と市職員との人事交流を行い、組織活性化と相互の人材育成に努めます。

## このまち大好き人間を育むまちづくり

- 中心市街地活性化は、歴史や文化、自然、風土を活かした新たな視点で再生に取り組みます。
- 空き店舗を借り上げ「まちなか実験室・科学館・美術館」やワークショップ、様々な体験工房を点在させ、子供達や家族が休日揃って出かけられるまちづくりを行います。
- 市民と学生が交流できる石巻専修大学サテライトキャンパスを設け、若者が集う仕組みを作ります。
- 石巻の自然環境を活かした「エコツーリズム」を企画し、県内外からの観光客を誘致します。
- 石巻フィルムコミッションを創設、石巻を舞台とした映画やTV番組を誘致、観光の起爆剤とします。

## 太陽のまち、自然を活かした産業づくり

- 世界的な環境保全型社会への転換期にある今、環境関連産業を石巻の経済の新たな柱とします。
- メガソーラー発電（大規模太陽光発電）施設や環境関連企業を誘致し雇用の創出を図ります。
- 野菜工場、植物工場を誘致し、雇用の創出を図ると共に農業技術の高度化を促進します。
- 地産地消や食育事業を推進し農林漁業の振興と石巻ブランドの高度化を進めトップセールスします。
- 産学官が連携し、新技術の研究開発支援や地元企業の技術力アップなどを支援し、技術けん引型地域経済の活性化を図り、ものづくりのまち・石巻をトップセールスします。
- 国や県と連携し、自動車産業等の企業誘致活動を行います。
- 石巻港の整備を急ぎ、背後圏を物流拠点として整備します。
- 石巻・酒田間高規格道路の早期整備促進を働きかけ、地域振興の動脈作りを急ぎます。

## いのちの大切さ最優先のまちづくり

- 出産祝い金等の制度を新設し、出産に関わる経済的負担ゼロを目指します。
- 乳幼児医療助成制度を段階的に小学6年生まで拡大し、保護者の経済的負担軽減を図ります。
- 待機児童ゼロを実現し、休日保育や24時間保育の確保、学童保育や病後児保育の拡充を図ります。
- 地域の子育てサークルを支援し全市的なネットワーク化を図り、明るく楽しく育てる環境を創ります。
- 医療機関、関係機関と連携を図り、小児救急医療の空白時間をなくします。
- 介護施設のサテライト化を進め、自分達の住み慣れたまちで介護を受けられる環境を整備します。
- 産科医、小児科医などの医師不足を早急に解消し、医師が住みたくなるまちづくりを行います。
- 赤十字病院や市立病院を核とした医療機関の機能分担・連携強化を図り、良質な医療と安心できる救急医療の充実に努めます。
- 宮城県沖地震に備え、早期に災害時医療体制を確立し災害ボランティア受入れの基盤整備を行います。